

身高 Dream Project

産業社会と人間 ～職業人インタビュー～

身長高校 Dream Project は夏季休業中にも行われました。
1年次生は「夢の発見」のために、「職業人インタビュー」に出かけました。生徒だけで事業所にアポを取るから始め、訪問前には質問事項を検討し模擬インタビューなども行いました。プロの方に直接お話を聞くことで、興味・関心を持つ職業に対する理解を深めるとともに職業観を養うことにつながります。
2年次生は「夢の育み」として、オープンキャンパスにも参加しました。コロナウイルス感染防止のため、直前に中止となってしまいましたが、インターンシップでは、保育や介護の現場の仕事を体験できることを非常に楽しみに、事前準備を重ね、仕事理解を深めました。
3年次生は「夢の実現」のために取り組みました。進学希望者は進学課外を受講し個々の実力の伸長を図り、模擬試験を受験して全国規模での自分の学力位置を確認します。また、結果を分析し次回への改善点を模索します。就職希望者は、就職ガイダンスを受講し心構えを新たに、模擬面接を経験しました。また、応募前職場見学会にも積極的に参加しました。



今年度の職業人インタビュー先

- 身延山病院 ●身延町立図書館 ●富士急ハイランド
- 伊豆・三津シーパラダイス ●ひまわり保育園
- 総合学園ヒューマンアカデミー静岡校 ●富士川町役場
- 山梨県リニア未来創造局 ●トーヨーコーケン株式会社
- 中部消防署 ●動物愛護指導センター
- スポーツオーソリティイオンモール甲府昭和店
- ベルクラシック甲府 ●鯉沢警察署 ●小林建設所
- 富士学園

中高連携

～アシスト授業～

「学習意欲の向上」と「基礎学力の定着」を目的として、身延中学校・南部中学校・身延高校では、担当教員による授業アシストを実施しています。中学校の授業アシストでは、高校の数学の教員が両中学校の数学の授業をアシストしています。身延中、南部中ともに週2日4時間実施しています。中学生は高校の問題の解き方などを学ぶことで刺激を受け、学力の向上に繋がっています。高校の授業アシストでは、両中学校の数学と英語の教員が、高校1年次の数学と英語の授業をアシストしています。4月から7月まで実施することで、高校1年次生の授業のつまづきを減らすことも目的の一つになっています。



高大連携

身延高校は地域貢献を目的に山梨県立大学と連携して「高大連携事業」に取り組んでいます。昨年度は、「身延に関わりのあるあなたへ」をテーマに、身延で暮らしていくうえで、「マイホーム」と「子育て」の二つの内容に着目して調査・研究を進めました。また県内、県外の大学、短期大学、専門学校等の、進学に関わる諸費用についても地域ごとに比較をして調査・研究をしました。今年度は、身延の活性化をテーマに身延門内地域にスポットをあてて、「身延町のフットパス」の作成に取り組んでいます。フットパスとは「歩くことを楽しむための道」のことを意味します。一般的なガイドブックにはない高校生の目線を通して、地元の魅力を発見し、発信していきたいと思えます。



7月21日(水)には、「身延町の魅力発見」をテーマに高校生が身延町役場の方にプレゼンテーションをしました。今まで気づけなかった町の魅力について再発見することができ、これからの活動をより深めることができました。

校長のつぶやき



本校は大正12年、県立身延中学校として開校され、来年度(令和4年度)には、創立百周年を迎えます。卒業生は2万3千名を超え、県内はもとより、広く日本国内や世界の各分野で活躍されています。創立当時の精神は、校訓「質実剛健 互助互譲」として今も受け継がれています。また、文武両道を掲げ、生徒は勉学と部活動の両面に励み、大きな成果を収めています。

さて、本校は令和元年度から、身延中学校・南部中学校との連携型中高一貫教育事業に取り組んでいます。12の事業を展開していますが、その柱である『ドリームプロジェクト』では、中高の6年間を見通したキャリア教育の充実を図り、これからの社会を生き抜くために必要な資質・能力の育成に力を入れています。さらに昨年度、県内の公立高校として最初となるコミュニティ・スクールに指定されました。コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を設置し、学校運営及び教育活動を学校だけでなく、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様や関係機関とも強固に連携し、支えていただながら推

進していくものです。まさに「地域とともにある身延高校」として、新たな歩みを進めているところです。また、スクールスローガン「チーム身延」を掲げ、生徒・教職員が一つになり、助け合い、支え合いながら何事にも果敢にチャレンジし、前向きに取り組んでいます。「一人一人の頑張りが皆の頑張りにつながり、皆の頑張りが一人一人の頑張りを支える」…本校は、そんな温かい学校です。生徒の活躍につきましても、この紙面や学校ホームページ等でご覧いただきたいと思えます。

今後も他に誇れる歴史と伝統を胸に、新たな時代に向けて、「小規模ながらもきらりと光る魅力ある学校」の構築を目指して邁進していきます。



SHINKO 身高VIEW

Vol.17
2021 August
MINOBU HIGH SCHOOL

部活動総括号



魅せた躍動!!
輝く汗と涙とともに



高校総体 陸上競技部男子 準優勝!!

小森直吏 IH出場決定



陸上競技部対談

身高トーク

関東大会出場 ●陸上競技部 ●男子体操
インターハイ出場 ●小森直吏



陸上部 山本真凜(2年次) (南部中学校出身)

陸上部 斎藤翼(部長:3年次) (田富中学校出身)

陸上部 小森直吏(3年次) (早川中学校出身)

—今回の男子総合準優勝について率直な感想をお願いします。

斎藤 前回の総体は男子総合優勝だったので、今年の準優勝という結果は悔しかったけど、自分たちらしく全力でできました。後悔はしていません。

—部活動を通して思い出に残っていること・学んだこと

斎藤 中学校の時に怪我をしてしまい、陸上から離れた時がありましたが、陸上をしたと思い、身延高校に進学しました。最後の総体では、8種競技に参加をして、初めて関東に出場できて、嬉しかったし、とても楽しかったです。

小森 中学校とは練習量が違って苦しいと感じることがあり、高校の部活動の大変さを学びました。ですが、この3年間、挫けずに陸上をできたことが大きな成長だと思っています。

—斎藤君は部長として大きな部をまとめてきましたが、どうでしたか

斎藤 部長として、部をまとめることが大変でしたが、仲間と助け合いながらここまで来ることができました。みんなのおかげで、自分も成長することができたと思います。後輩が成長している姿を見ることができ、嬉しかったです。

小森 あったね〜!話し合いもしたし、相談されたこともあったな〜。

山本 ごめんなさい……。 (笑)

—小森くんはIHの出場が決まっていますが、IHに向けてどのような思いですか

小森 もう記録は出して当たり前だと思っています。全国の舞台は、正直、記録でのプレッシャーもありますが、楽しみでもあります。山梨の顔でもあるので、応援し

てくれる人の期待に応えることができるように、山梨の代表として頑張っていきたいです。

斎藤 山本 テレビで見る方が偉大さを感じる… (笑)

小森 もっとみんな俺を褒めてくれてもいいんだよ!? (笑)

山本 でも、近くに凄い人がいるので刺激をもらえます。もっと自分に厳しく、上を目指していきたいと思えます。小森さんが表彰台に上っている時に、多くの人が見に来ていて凄いなと思いました。

斎藤 練習と日常を分けて、一生懸命努力し、常に上を目指している姿を見てきて、凄いなと思った。

小森 自分にそんなに厳しいかな?でも、先輩が大会新記録を出したのを見て、この人に勝ちたい、山梨以外でも名前を残したいと思っているし、お互いに切磋琢磨することができる仲間が存在があったからこそだと思います。

—後輩たちに向けてメッセージをお願いします。

斎藤 ひたむきに甘えを見せず、自分の言った言葉をちゃんと行動に起こすようにしてください。上に立つ存在になっていくので、記録ももちろんだけど、見本となるような存在になってください。

小森 行きたいところまで行ってください。最後まで夢を見た人が結果を出せると思います。誰にでも一番になれる可能性があり、そのために日々の練習があります。努力を続ければ結果がしっかりとついてくるのは陸上のいいところだと思います。頑張れ。

山本 先輩たちの姿を見て、私も皆の前に立ちたいと思いました。応援してくれる人がいるのはとても心強いです。まだまだ、自分に対する甘えもあるので、先輩たちみたいに自分に厳しく、常に上を目指すようにしていきたいです。身延高校と一緒に切磋琢磨できる仲間が増えるといいな〜。

3年間の集大成! 身高生活躍の夏!

ソフトボール部



■3年A組 一瀬太志 (南部中学校出身)

自分はこの高校でソフトボールができてとてもよかったです。理由はソフトボールの技術だけではなく人間としてとても成長できたと思っています。自分の代は部員が3人しかいなく、助っ人の力を借りる形となったけど、最後の試合では一つのボールに9人が気持ちを一つにして全力でプレーできたこと、それからみんなでソフトボールを全力で楽しめてとても良かったです。



女子バレーボール部



■3年B組 松木彩華 (身延中学校出身)

メンバーとはたくさんぶつかり合って、たくさん泣いて、たくさん笑いあってきました。最後の大会では私たちの成果を出すことができ、とても楽しむことができました。最後の大会が出来たこと、ここまでバレーができたことに感謝しています。



男子ソフトテニス部



■3年A組 望月蒼空 (南部中学校出身)

部活動を通して学んだことは人の関わりです。3年生になり顧問の先生が変わる中での練習は最初は大変でした。部長としてチームをまとめていくことの難しさを学びました。しかし、努力を重ね、このメンバーで楽しくテニスができよかったと感じる3年間とすることができました。



女子ソフトテニス部



■3年A組 河西一葉 (身延中学校出身)

私は3年間の部活動で、ひとつの事を続けることの大変さを学びました。部活内に同級生がいなくて、大変なことも多かったです。先輩や後輩、先生方に支えられたおかげで最後まで楽しく部活動に取り組みました。部活動で得たこと、学んだことを今後活かしていきたいと思っています。



男子バスケットボール部



■3年A組 依田大和 (南部中学校出身)

3年間で主体性と本質を見抜く力をつける事ができました。楽しいことばかりではありませんでしたが、今は胸を張ってバスケット部でよかったなと思います。顧問の先生をはじめ、マネージャーや支えてくださった多くの人に感謝したいです。これからも部活で得た力や経験をもとに頑張っていきたいです。



生徒会長 田村 隼介 (南部中学校出身)

みなさん、こんにちは。身延高校生徒会長の田村 隼介です。身延高校は活気に溢れた楽しい学校です。学習面では、総合学科高校として様々なことを学び、様々な進路を選択できます。部活動では、どの生徒も一生懸命取り組んでとても良い雰囲気です。ぜひ一度見学や説明会に参加してみてください。